

## 平成27年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システム ディ  
コード番号 3804 URL <http://www.systemd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 堂山 道生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 本庄 英三

TEL 075-256-7777

四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年10月期第1四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第1四半期	348	26.4	△187	—	△189	—	△109	—
26年10月期第1四半期	275	24.0	△142	—	△145	—	△72	—

(注) 包括利益 27年10月期第1四半期 △109百万円 (—%) 26年10月期第1四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第1四半期	△33.67	—
26年10月期第1四半期	△22.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年10月期第1四半期	3,109	1,373	44.2	423.02
26年10月期	3,151	1,496	47.5	461.06

(参考) 自己資本 27年10月期第1四半期 1,373百万円 26年10月期 1,496百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年10月期	—	—	—	—	—
27年10月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,342	3.7	119	△49.5	113	△50.5	68	△57.5	21.00
通期	2,841	17.3	252	34.0	243	36.0	196	5.9	60.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年10月期1Q	3,249,000 株	26年10月期	3,249,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年10月期1Q	2,559 株	26年10月期	2,559 株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年10月期1Q	3,246,441 株	26年10月期1Q	3,246,441 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、高品質な自社開発パッケージソフトを核とした利益率の高いソリューションビジネスと、顧客増加に伴うサポート及びクラウドサービス提供による持続発展的なストックビジネスの両輪で事業に取り組んでおり、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上が第2四半期及び第4四半期に集中するため営業損失ではありますが、計画を上回る売上、営業利益を達成することができました。

学園ソリューション事業におきましては、主力製品である『キャンパスプラン.NET Framework』が引き続きユーザから高い支持を得て販売実績を伸ばしました。加えて、新年度からの学校法人会計基準の制度変更に向けた各ユーザへの納品作業・サポートも順調に進めることができ、計画を上回る売上を計上いたしました。また、新規に取り組んでおります『キャンパスプラン for Azure』や、保護者向けWebサービス『アンシン サイト』も開発を予定通り進めております。

ウェルネスソリューション事業におきましては、民間のフィットネスクラブ・公共の体育施設に会員管理システム『Hello』を販売しており、当期は大手指定管理者が受託する複数の体育館への納入を開始しました。また、期首より営業活動を開始したアンチエイジングサービス『Weldy Cloud』の引き合いが活発で、4月リリースに向け、体育館、介護予防施設、メディカル系フィットネス施設からの受注を順調に増やしております。

公立小中高校向け校務支援サービス『School Engine』のサービス提供を行っている公教育ソリューション事業におきましては、自治体における予算措置を具体化する案件が増加しております。当社がトップシェアを占める公立高校向けの都道府県案件だけでなく、今後は小中学校向けの市町村案件につきましても受注を増やすよう営業を強化してまいります。

公会計ソリューション事業におきましては、昨年リリース致しました、総務省の新統一基準に対応した地方公会計パッケージソフト『PPP(トリプル・ピー) Ver.4 新統一基準対応版』の営業展開に注力しております。自治体の新年度での受注獲得を進めておりますが、さらに自治体の取組を喚起するために、固定資産台帳システムの提案を突破口に取組みを強めてまいります。

ソフトエンジニアリング事業におきましては、『規程管理システム』及び『契約書作成・管理システム』の拡販を行い、客先からの引き合いが順調に増加しております。

保険薬局向け事業を営んでいる株式会社シンクにおきましては、引き続き保守サポート収入を安定的に確保いたしました。

株式会社新公会計研究所におきましては、自治体の年度末に向けて計画通り作業を進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高348,171千円（前年同期比26.4%増）、営業損失187,619千円（前年同期は営業損失142,866千円）、経常損失189,355千円（前年同期は経常損失145,632千円）、四半期純損失109,294千円（前年同期は四半期純損失72,778千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて42,375千円減少して3,109,395千円となりました。流動資産の残高は1,229,089千円であり、主な内訳は、現金及び預金362,655千円、受取手形及び売掛金598,834千円であります。固定資産の残高は1,880,306千円であり、主な内訳は、土地420,300千円、ソフトウェア395,821千円、ソフトウェア仮勘定441,238千円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて81,092千円増加して1,736,073千円となりました。流動負債の残高は1,056,755千円であり、主な内訳は、支払手形及び買掛金257,693千円、短期借入金450,000千円であります。固定負債の残高は679,317千円であり、主な内訳は長期借入金398,482千円であります。

純資産は、前連結会計年度末の残高より123,468千円減少して1,373,322千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は顧客の事業年度に合わせて製品・サービスを納入、稼働させる必要があることから、業績が毎年第2四半期及び第4四半期に偏重する傾向にあります。当第1四半期連結会計期間の業績につきましても、計画通りに進捗しており、平成26年12月15日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	320,119	362,655
受取手形及び売掛金	795,685	598,834
たな卸資産	45,259	105,231
繰延税金資産	72,078	150,501
その他	15,428	14,691
貸倒引当金	△3,448	△2,824
流動資産合計	1,245,123	1,229,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	168,957	165,727
土地	420,300	420,300
その他(純額)	5,298	5,452
有形固定資産合計	594,557	591,480
無形固定資産		
のれん	120,781	116,617
ソフトウェア	455,460	395,821
ソフトウェア仮勘定	402,916	441,238
その他	2,080	2,080
無形固定資産合計	981,239	955,758
投資その他の資産		
投資有価証券	38,691	38,210
繰延税金資産	39,096	40,820
その他	253,062	254,037
投資その他の資産合計	330,850	333,067
固定資産合計	1,906,647	1,880,306
資産合計	3,151,770	3,109,395

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	211,208	257,693
短期借入金	300,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	117,176	121,576
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	13,055	1,649
賞与引当金	—	17,401
サポート費用引当金	154	87
その他	262,697	173,348
流動負債合計	939,291	1,056,755
固定負債		
社債	96,000	85,500
長期借入金	428,476	398,482
退職給付に係る負債	111,347	114,605
役員退職慰労引当金	73,033	74,069
その他	6,831	6,660
固定負債合計	715,688	679,317
負債合計	1,654,980	1,736,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,260	484,260
資本剰余金	619,313	619,313
利益剰余金	391,297	268,334
自己株式	△555	△555
株主資本合計	1,494,316	1,371,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,474	1,969
その他の包括利益累計額合計	2,474	1,969
純資産合計	1,496,790	1,373,322
負債純資産合計	3,151,770	3,109,395

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
売上高	275,531	348,171
売上原価	228,891	337,210
売上総利益	46,639	10,960
販売費及び一般管理費	189,506	198,580
営業損失(△)	△142,866	△187,619
営業外収益		
受取配当金	349	380
未払配当金除斥益	160	150
受取手数料	113	101
償却債権取立益	128	124
その他	1	10
営業外収益合計	753	767
営業外費用		
支払利息	2,884	2,190
支払保証料	634	291
その他	0	20
営業外費用合計	3,519	2,503
経常損失(△)	△145,632	△189,355
特別損失		
役員退職功労加算金	5,000	-
特別損失合計	5,000	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△150,632	△189,355
法人税、住民税及び事業税	4,018	845
法人税等還付税額	-	△1,037
法人税等調整額	△81,872	△79,868
法人税等合計	△77,853	△80,060
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,778	△109,294
四半期純損失(△)	△72,778	△109,294



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△72,778	△109,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△171	△505
その他の包括利益合計	△171	△505
四半期包括利益	△72,950	△109,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,950	△109,800
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	245,369	30,161	275,531	—	275,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,934	5,934	△5,934	—
計	245,369	36,096	281,465	△5,934	275,531
セグメント利益又は損失(△)	△103,332	15,826	△87,506	△55,360	△142,866

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作、テナント賃貸、コンサルティング等の業務を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,360千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	342,100	6,071	348,171	—	348,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,629	6,629	△6,629	—
計	342,100	12,700	354,800	△6,629	348,171
セグメント損失(△)	△120,795	△6,073	△126,868	△60,751	△187,619

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作、テナント賃貸、コンサルティング等の業務を行っております。

2. セグメント損失(△)の調整額△60,751千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。